

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 3 年 6 月 24 日 (2021.6.24)

【公表番号】特表 2021-512552 (P2021-512552A)
【公表日】令和 3 年 5 月 13 日 (2021.5.13)
【年通号数】公開・登録公報 2021-022
【出願番号】特願 2020-542302 (P2020-542302)
【国際特許分類】

H 0 4 W 72/02 (2009.01)

H 0 4 W 36/24 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 72/02

H 0 4 W 36/24

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 4 日 (2020.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信システムにおける無線機器によって行われる方法であって、
一つ以上の搬送波を構成する段階と、
S T C H (s i d e l i n k t r a f f i c c h a n n e l) でデータが利用可能
であれば、

前記構成された一つ以上の搬送波を使用したデータ送信が可能ではないことを決定する
段階と、

前記構成された一つ以上の搬送波を使用したデータ送信が可能ではないという決定に基
づいて、送信搬送波の選択 (t r a n s m i s s i o n c a r r i e r s e l e c t
i o n) 手続を行う段階とを含む、方法。

【請求項 2】

前記方法は、前記無線機器の M A C エンティティ (e n t i t y) によって実行される
、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記無線機器の前記 M A C エンティティは、感知 (s e n s i n g) 、部分感知 (p a
r t i a l s e n s i n g) 、又はランダム選択 (r a n d o m s e l e c t i o n)
に基づいて、前記一つ以上の搬送波で資源のプール (p o o l) を使用して送信するよ
うに前記無線機器の上位層によって構成される、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記無線機器の上位層は、前記無線機器の R R C (r a d i o r e s o u r c e c
o n t r o l) 層である、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記 S T C H で利用可能な前記データは、前記一つ以上の搬送波の中から選択された搬
送波と関連していない、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記 S T C H と前記一つ以上の搬送波との間の関連 (a s s o c i a t i o n) は、ネ
ットワークと事前構成 (p r e - c o n f i g u r a t i o n) のうち少なくとも一つに

より構成される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記 S T C H は、前記 S T C H の C B R (c h a n n e l b u s y r a t i o) と P P P P (P r o S e (p r o x i m i t y - b a s e d s e r v i c e s) p e r - p a c k e t p r i o r i t y) のうち少なくとも一つに基づいて、前記一つ以上の搬送波のうち少なくとも一つの搬送波で送信されることができるよう許容される、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記 S T C H で利用可能な前記データを前記送信搬送波の選択手続に基づいて選択された少なくとも一つの搬送波を使用して送信する段階をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記無線機器は、U E (u s e r e q u i p m e n t : 端末)、ネットワーク、及び / 又は前記無線機器と異なる自律車両のうち少なくとも一つと通信する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

無線通信システムで作動するように構成された無線機器であって、
送受信機 (t r a n s c e i v e r) と、
少なくとも一つのメモリと、
前記少なくとも一つのメモリと作動可能に連結された少なくとも一つのプロセッサとを
備え、
前記少なくとも一つのプロセッサは、前記少なくとも一つのプロセッサにより行われる
際に、
一つ以上の搬送波を構成する段階と、
S T C H (s i d e l i n k t r a f f i c c h a n n e l) でデータが利用可能
であれば：
前記構成された一つ以上の搬送波を使用したデータ送信が可能ではないことを決定する
段階と、
前記構成された一つ以上の搬送波を使用したデータ送信が可能ではないという決定に基
づいて、送信搬送波の選択 (t r a n s m i s s i o n c a r r i e r s e l e c t i o n) 手続を行う段階とを含む作動を実行する指示を保存する、無線機器。

【請求項 11】

前記作動は、前記無線機器の M A C エンティティ (e n t i t y) によって実行される、請求項 10 に記載の無線機器。

【請求項 12】

前記無線機器の前記 M A C エンティティは、感知 (s e n s i n g)、部分感知 (p a r t i a l s e n s i n g)、又はランダム選択 (r a n d o m s e l e c t i o n) に基づいて、前記一つ以上の搬送波で資源のプール (p o o l) を使用して送信するように上位層によって構成される、請求項 11 に記載の無線機器。

【請求項 13】

前記無線機器の上位層は、前記 U E の R R C (r a d i o r e s o u r c e c o n t r o l) 層である、請求項 12 に記載の無線機器。

【請求項 14】

前記 S T C H で利用可能な前記データは、前記一つ以上の搬送波の中から選択された搬送波と関連していない、請求項 10 に記載の無線機器。

【請求項 15】

装置であって、
少なくとも一つのメモリと、
前記少なくとも一つのメモリと作動可能に連結された少なくとも一つのプロセッサとを
備え、

前記少なくとも一つのプロセッサは、前記少なくとも一つのプロセッサにより行われる際に、

一つ以上の搬送波を構成する段階と、

STCH (sidelink traffic channel) でデータが利用可能であれば：

前記構成された一つ以上の搬送波を使用したデータ送信が可能ではないことを決定する段階と、

前記構成された一つ以上の搬送波を使用したデータ送信が可能ではないという決定に基づいて、送信搬送波の選択 (transmission carrier selection) 手続を行う段階とを含む作動を実行する指示を保存する、装置。